

# 真如苑 ひょうご多文化共生・外国人支援基金

SHINNYOEN FUND

## 基金の成り立ち

この基金は 2016 年に宗教法人真如苑様の支援で始まりました。真如苑様は NPO や NGO を支援する中間支援やコミュニティ財団とともに国内各地域で助成事業を進めていく中で、当財団と協働して「真如苑・ひょうご子ども応援基金」を創設し、子どもの貧困や孤立などの問題に 3

年間取組んできました。

2019 年からは社会全体の認識や公的制度の面で遅れている「外国人・多文化共生」を新たなテーマとして助成プログラムのリニューアルを行い「真如苑・ひょうご多文化共生・外国人支援基金」として助成を行っています。

## 基金内容

### 助成趣旨

本基金は、多文化共生や外国人や外国人支援の取り組み、とりわけ外国人や外国人家庭の貧困や暴力、差別に苦しむ人々への支援に資する取り組みについて応援します。

日本人に対する貧困家庭や子どもの貧困については社会全般の認識が進む中でも、外国人に対しては人々の気持ちの面でも公的制度の面でも大きく取り残されています。2019 年 4 月から改定入管法が施行され、外国人労働者の受け入れが大きく拡大することもこの状況に拍車をかけると予想されますが、社会の対応は十分ではなく、今後日本社会において

は多文化・多民族の共生が大きなテーマになっていくと予想されています。

こういった状況のもと、本基金により、兵庫で多文化共生・外国人の支援の活動を行う NPO 等に資金助成を行い、本テーマに叶う活動の充実・拡大と、活動する団体の発展を図ります。

### 対象となる事業

多文化共生や外国人支援の取り組み、とりわけ貧困や暴力、差別に苦しむ人々への支援に資する取り組みを優先的に助成します。

### 助成額（募集時）

50 万円 / 件上限、3 ~ 4 団体程度(総額 120 万円)

## 2021 年度の活動

前期は新型コロナ禍の下「ひょうご・みんなで支え合い基金」に統合して外国人支援の枠として助成を行いましたが、今期は「真如苑 ひょうご多文化共生・外国人支援基金」単独で実施しました。

兵庫県内の神戸・阪神・東播磨・中播磨で多文化共生・外国人の支援の活動を行う NPO 等を対象に公募を行い、5 団体・総額 113 万円の助成を行いました。

事業期間の半ばの 2022 年 6 月 6 日に中間報告交流会を開催。今回は 3 年ぶりの対面開催となり、助成団体 5 団体全てが参加。新型コロナ禍の下での活動の様子を発表し、今後の活動について活発な意

見交換を行いました。

真如苑様の基金は 3 年ごとに事業の見直しを行っており、今期がその区切りに当たります。

このため 2022 年 6 月 7 日・8 日に真如苑様と財団担当で助成団体を訪問。外国人への日本語支援や学習支援、生活困難留学生への食糧支援、技能実習生の一時保護など、当事者や直面する課題の多様性、そして課題に合わせた様々な外国人支援の形態を調査しました。

次期の助成対象分野は外国人支援で継続する方針で、具体的内容については今後、真如苑様と検討していきます。

## 第6期助成【事業期間 2021.11.1～2022.10.31】の助成先一覧

団体名	事業名	金額（円）
NPO 法人 多文化センターまんまるあかし	みらいのきょうしつ	100,000
マサヤンタハナン	日本に住むフィリピン人の生活支援と地域交流	320,000
こうべ子どもにこにこ会	外国につながる子ども達への日本語・教科学習支援と地域連携	150,000
ひょうごラテンコミュニティ	誰もが住みやすい日本をつくるためのプロジェクト 2022	200,000
NPO 法人 日越交流センター兵庫	帰宅困難・生活困難外国人留学生等支援事業	360,000
合計		1,130,000



中間報告＆交流会の様子（2022年6月6日）。コロナ禍の現状の活動や今後について活発な意見交換が行われた。



現場の生の声を今後の助成に活かすために真如苑様と共に助成先のNPO法人まんまるあかしを訪問（2022年6月8日）

### 選考委員

#### 【選考委員】

委員長 小澤昌甲	社会福祉法人 神戸YMCA福祉会 常務理事
石田勝則	公益財団法人 兵庫県国際交流協会 専務理事（当時）
石田香奈子	立命館大学産業社会学部教授
武田丈	関西学院大学人間福祉学部 教授
原島照司	真如苑 社会交流部 課長代理

### 活動紹介：ひょうごラテンコミュニティ

「ひょうごラテンコミュニティ」は南米出身者や日本人のメンバーが中心となって、日本在住のスペイン語圏の方の生活の向上を進めたり、地域社会への積極的な参加を促すことを目的に、さまざまな情報発信や生活相談、企画などを行っています。

2021年度の助成では、日本在住のスペイン語圏出身者の目線で、防災カレンダーを作成しました。カレンダーには、非常時持ち出し品のチェックシートやハザードマップ、警戒レベルの説明を盛り込んでいます。スペイン語でこのようなカレンダーはないので、カレンダーを手にとったコミュニティの方から感謝の声を寄せられています。日本語とスペイン語で掲載することも大切で、家族で防災力のアップにつながっていると考えています。

ラテンアメリカでは災害に備える文化がなく、子



どもは学校で訓練の機会がありますが、親は学ぶ機会がありません。災害が多い日本に住む上で、防災の知識を増やし、意識してもらえよう働きかけたいです。

（左写真＝作成した防災カレンダー）